

三島村

人口373人・面積31.2km²(平成31年1月1日現在)

【飛行機によるアクセス】 鹿児島空港～薩摩硫黄島(約50分)※セスナ機 毎週月・水曜日・要予約
 【船によるアクセス】 定期船みしま 鹿児島本港～竹島(約3時間)

相談窓口
定住促進課

☎099-222-3141 ✉teiju05@mishimamura.com

🌐http://mishimamura.com



地球の鼓動を感じる島々(竹島・硫黄島・黒島)



三島村は、薩摩半島から南へ約40キロの洋上に点在する竹島、硫黄島、黒島の3島からなります。交通手段は主に村営定期船とセスナ機です。竹島は平坦な島で、その名のとおりの島全体が竹に覆われた畜産の盛んな島。硫黄島は、温泉、椿、つつじの原生林や野生の孔雀が島内を闊歩する火山島。黒島は標高500m級の山々がそびえ、森林と大名竹に覆われた自然豊かな、畜産の盛んな島です。

このマチのアピールポイント!

やる気のある人材を村が全力でサポートします。
 特に、農業(畜産)で自立したいなら、
 施設の整備された三島村で夢を叶えよう!

アドバイス

鹿児島県内で最も小さな自治体です。不便なこともたくさんあります。移住を決断する前に、実際に足を運んで自然環境、仕事、住宅などの状況を知る機会が必要です。特に島に移住してから何をしたいか、きっちりと計画を立てることで、よりよい島暮らしが実現できます。



三島村のマスコットキャラクター
トレンドくん

DATA

- 教育機関数**
小学校:4、中学校:4
- 医療機関数**
診療所:4
各集落に診療所があり、看護師が常駐。急患については、昼間は県の防災ヘリ、夜間は自衛隊のヘリに対応し、鹿児島市内へ搬送
- 主な公共施設**
竹島あいあい会館、冒険ランドいおうじま、三島開発総合センター、みしまジャンプスクール、大里ふるさとセンター、片泊ふれあいセンター
- 主な産業**
畜産業、伊勢海老漁、大名たけのこ生産、黒島みかん栽培、椿栽培
- 主な特産品**
大名竹の子、椿油、かめりあそーぶ、黒島みかんシフォンケーキ
- 主なイベント**
・特攻平和祈念祭(5月)
・MISHIMA CUP(8月)
・みしまジャンプフェスティバル(10月)
- インターネット接続環境**
光回線(ミシマデネット)月額3,000円

おすすめライフスタイル



暮らしの情報

- 子育て環境**
小・中学併設の学校が各地区にあります。学校教育現場では、豊かな自然の中でそれぞれの個性を生かした、少人数編成の心の通った教育が展開されています。
- 医療環境**
村内4カ所に診療所があり、現在鹿児島赤十字病院の医師が巡回診療しています。また万一の場合に備え、ヘリや漁船などで緊急搬送ができる体制があります。

- 買物環境**
島内に小さな商店が4軒ありますが、食料のほとんどは本土からの取り寄せになります。船賃軽減のために、地区単位でまとめて業者に発注するシステムがあります。
- 交通環境**
本土と各島をつなぐ村営定期船「みしま」が、週4便程度運航しています。また鹿児島空港より薩摩硫黄島へのチャーター機が週2便運航しています。

移住者に対する主な受入対策

就業支援

畜産施設(牛舎・大型トラクター)を整備済。他にも子牛一頭または、二人以上世帯50万円支給、定住助成金85,000円支給(世帯員数により加算)などの支援もあります。

住宅関係支援

定住者向け住宅(3DK)に入居可能。

その他支援

支度金(引越費用)として村営船みしまの船運賃10万円まで支給します。出産祝金もあります。

移住者の声

豊かな自然環境で子育てをしようと移住しました。島にはコンビニもスーパーもないけれど、生活に不便を感じません。村の地区会、子ども会などの行事を通して地域に溶け込むことができました。学校は少人数で先生との距離が近く、いつも子どもたちはいきいきとしています。(長崎県からの移住)

